

特定非営利活動法人 ピーブルズ・ホープ・ジャパン
2026 年度 事業計画

1. 5 ヶ年総合計画

5 ヶ年総合計画については、設立 30 周年に向け持続的な成長を目指し、事業の拡大に取り組んでいます。2025 年度は計画の第 1 年次であり、計画された資金は確保することができ、事業活動を進めることができました。2026 年度はミャンマーでもカンボジアでも次の展開の準備を進める重要な年となり、既存の事業を進めながら、新しい助成金の申請、企業からの支援を求めて活動していきます。同時に新規国への展開も支援国の候補を絞りながら準備を進めていきます。

海外事業計画 (FY2025-FY2029)

海外事業	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027 設立30周年	FY2028	FY2029
ミャンマー	妊産婦と新生児の健康改善のための保健システム強化支援（ネピドー レウエイ）			保健システム強化支援（ネピドー ピンマナ）			
	外務省N連			外務省N連	JICA草の根技協 外務省N連		
	小野薬品工業			企業連携（冠）、助成金			
	八神製作所		大塚製薬	法人・個人賛助会費、一般寄付			
	法人・個人賛助会費、一般寄付			法人・個人賛助会費、一般寄付			
カンボジア	子どものケア	安心安全なお産のための保健システム強化支援（シェムリアップ ソトニクム）			産後の女性と子どもの継続ケア強化（シェムリアップ ソトニクム）		
	外務省N連	JICA草の根技協			外務省N連		
	住友ファーマ		横河商事	横河商事	企業連携（冠）、助成金		
	成田CPRC		フェリシモ	地球村の基金	法人・個人賛助会費、一般寄付		
	法人・個人賛助会費、一般寄付			法人・個人賛助会費、一般寄付			
新規支援国事業			国・事業地選定	事業開始準備			母と子の支援
							外務省N連
							賛助会費、企業連携（冠）等

国内事業計画 (FY2025-FY2029)

国内活動	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027 設立30周年	FY2028	FY2029
人財育成	・東京本部インターンシッププログラム (春/夏/通年) ・講演/講義/授業/事務所訪問 (通年) ・参加型イベント (年複数回)				・海外事業スタディツアー (秋) ・武蔵野市「開かれた学校づくり協議会」 (通年)		
		検討・企画			制度づくり	出向海外赴任ボランティア	
新規			調査・検討		(内部) 体制づくり (外部) 関係づくり		
緊急・復興支援					調査・検討	(内部) 制度・体制づくり (外部) 関係づくり	

2. 支援活動計画（事業計画）

2.1 海外事業

2.1.1 カンボジア支援

（１）シェムリアップ州ソトニクム保健行政区における安心安全なお産のための保健システム強化支援事業（委託事業・自主事業）

本事業（2023 年 4 月開始）は、対象地のすべての女性の安全安心なお産のために、1)地方病院と保健センターの助産サービスが向上し、連携が強化される、2)ボランティアの能力が強化され、保健センターとコミュニティの連携が強化される、3)地域住民の母子保健、特に安全な妊娠・出産に関する知識が向上することを目指し、シェムリアップ州保健局及びソトニクム保健行政区、地方病院、保健センター、コミュニティと連携しながら以下の活動を実施し、2026 年 4 月に完了させます。

● 地方病院と保健センターの助産サービスを向上させ、連携を強化する活動

保健行政区・地方病院レベルでは、MCAT 会議（助産師連携チーム会議）を開催します（3 回）。保健センターレベルでは、保健センタースタッフ会議のモニタリングを対象 7 保健センターで継続します（各保健センター3 回実施）。また、保健行政区スタッフが保健センターを訪問して現場で行うサポーター・スーパービジョンを対象 16 保健センターで継続します（各保健センター3 回実施）。同時に、保健行政区スタッフによるリファラル・システム（病院連携）と保健センターマネージメント（24 時間体制）のスーパービジョンを対象 16 保健センターで継続します（各保健センター3 回実施）。地方病院と保健センターの助産師と看護師を対象とした研修を実施します。

● ボランティアの能力を強化し、保健センターとコミュニティの連携を強化する活動

ボランティア会議のモニタリングを対象 7 保健センターで継続します（各保健センター5 回実施）。併せて、地域で活動する保健ボランティアの能力強化再研修を実施します。保健センタースタッフと保健ボランティアが協力しながら、ポジティブな出産経験のプロモーション活動を実施します。

● 地域住民の母子保健、特に安全な妊娠・出産に関する知識を向上させる活動

ボランティアによる保健教育・啓発活動および妊婦の個別訪問を継続します。また、保健啓発 Q & A セッションと保健センターにおける 24 時間体制の周知活動を実施します。

（２）シェムリアップ州ソトニクム保健行政区における産後の女性と子どもの母子継続ケア支援事業

2026 年 3 月から 2029 年 2 月までの 3 年間で、事業対象地のすべての産後の女性と 5 歳未満の子どもの質の高い継続ケア・サービスの促進を目指した事業を計画しています。外務省日本 NGO 連携無償資金協力に申請すると共に、民間企業の NGO 連携事業に応募します。

2.1.2 ミャンマー支援

（１）ネピドー特別行政区レウエイ郡における妊産婦と新生児の健康改善のための保健システム強化支援事業（補助金事業・自主事業）

本事業は、地域の保健システムの強化を通して、保健サービスの質の向上と利用を促進することによって、母と子の健康が改善されることを目指します（2020 年 12 月開始）。また、ネピドー公衆衛生局及びレウエイ郡保健当局と連携しながら、レウエイ郡での活動の成果が、ネピドー特別行政区内の他の郡に波及されるよう取り組みます。事業活動は以下の 3 つのアプローチで構成され、それぞれのアプロー

チにおいて以下の活動を実施します。

- **ネピドー特別行政区内の他の郡への本事業成果の波及を目指した活動**

保健省との年次調整会議（状況に応じて保健局内関係部署別の会議）とネピドー公衆衛生局との事業評価会議を行います。また、ネピドー特別行政区の他の郡による活動現場の視察を実施します。

- **郡保健局－医療者－コミュニティの連携を促進させる活動**

事業対象地の地域住民とのアドボカシー会議（住民説明会）と、助産師・補助助産師・母子保健推進員が集う地域医療関係者会議を開催します。また、レウエイ郡保健局での継続医療学習を支援します。レウエイ郡保健局スタッフとの事業ワークショップを行い、活動の進捗状況及び成果指標の推移を確認します。レウエイ郡保健局の管理能力強化支援として、郡保健局年間計画の策定を支援するとともに、基礎保健スタッフ（主に助産師）の妊産婦死亡調査および新生児・小児死亡調査の研修と、2026年の年間保健教育活動計画の策定を支援します。

- **妊産婦と新生児の保健サービスへのアクセス向上を達成するための活動**

母子保健推進員による保健教育と妊産婦の家庭訪問を継続すると共に、5歳未満の子どもの成長モニタリング（身長・体重・上腕周囲径の測定）を開始します。また、地域住民を対象としたマスマーケティングと、レウエイ郡保健局スタッフと地域保健センター担当者による保健施設の管理モニタリングを継続します。保健サービスの利用を促進するために、プロモーション活動（保健施設でのポジティブな出産体験の経験共有と新生児キットの提供）を継続します。

（２）ネピドー特別行政区レウエイ郡における安全安心なお産のための母子継続ケア支援事業

2026年1月から12月までの1年間で、妊娠・出産・産後の女性と生まれた赤ちゃんが母子一体として継続的に適切なケアを受けることにより、安全安心なお産と元気な赤ちゃんの誕生を目指した事業を計画しています。外務省日本NGO連携無償資金協力に申請します。

2.1.3 新規事業国

新規国への事業展開を目指して、支援国・事業地の候補を絞り込み、具体的な事務所開設・事業開始の準備を進めます。

2.2 国内での活動

2.2.1 人財育成活動

世界共通の開発目標（SDGs）、グローバルヘルスの課題、草の根レベルの国際協力活動の理解を深め、実際の行動を促すための人財育成活動として、東京本部でのインターンシッププログラム、大学や専門学校への出張授業・講義、中学生・高校生・大学生の事務所訪問を行います。また、NGOによる国際協力活動や国際保健を学ぶ参加型のイベントや海外事務所でのスタディツアーを実施します。加えて、「出向海外赴任ボランティア（仮称）」を検討します。

2.2.2 新規国内活動

緊急支援活動も含め、日本国内での活動について調査・検討します。

2026 年度予算(2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

(単位：円)

科 目	2024年度	2025年度	2026年度
	決算	決算	予算
I. 経常収益			
1. 受取会費	25,803,000	26,080,000	25,500,000
団体賛助会費	21,980,000	22,575,000	22,000,000
個人賛助会費	3,823,000	3,505,000	3,500,000
2. 受取寄付金	17,340,174	13,879,355	16,900,000
法人寄付金	8,003,920	5,960,100	6,400,000
一般寄付金	9,336,254	7,919,255	10,500,000
3. 受取助成金等	▲ 3,940,474	45,673,855	51,480,000
助成金	0	999,000	2,000,000
補助金	▲ 3,940,474	44,674,855	49,480,000
4. 事業収益	25,596,000	16,659,000	37,490,000
受託事業収入	25,596,000	16,659,000	37,490,000
5. 雑収益（利子等）	28,592	38,569	0
6. 商品寄付	0	126,674,257	0
経常収益合計	64,827,292	229,005,036	131,370,000
現金	64,827,292	102,330,779	131,370,000
商品	0	126,674,257	0
II. 経常費用			
1. 事業費	85,287,010	87,674,868	106,510,000
カンボジア支援費	36,248,464	36,837,487	36,790,000
ミャンマー支援費	31,528,694	31,642,035	50,520,000
広報・募金活動費	17,509,852	19,195,346	19,200,000
2. 管理費	15,605,988	13,545,703	11,900,000
3. 商品寄付	0	126,674,257	0
経常費用合計	100,892,998	227,894,828	118,410,000
現金	100,892,998	101,220,571	118,410,000
商品	0	126,674,257	0
III. 当期正味財産増減額	▲ 36,065,706	1,110,208	12,960,000
現金	▲ 36,065,706	1,110,208	12,960,000
商品（在庫）	0	0	0
IV. 前期繰越正味財産	113,412,723	77,347,017	78,457,225
現金	113,412,723	77,347,017	78,457,225
商品（在庫）	0	0	0
V. 次期繰越正味財産	77,347,017	78,457,225	91,417,225
現金	77,347,017	78,457,225	91,417,225
商品（在庫）	0	0	0